

○障がい者

- 重点 農福連携、超短時間雇用の導入で、多様な就労の機会を確保すること
- 重点 庁内研修の機会を拡充・発展させ、庁内雇用を実現すること
- 重点 一般就労の定着支援を充実させるため、ジョブコーチを増員すること
- ◎車いす利用者や視覚障がい者が、安心して歩ける歩道環境を整備すること
- ◎都営住宅を活用したグループホームを設置すること
- ◎移動支援事業の報酬を引き上げ、利用者が確実に利用できる制度にすること

○ひきこもり支援

- 重点 専門的支援と関係機関の連携強化で、個々の課題やニーズに寄り添う支援のしくみを構築すること
- 重点 ひきこもり者の社会参加の機会を創設すること

○女性

- 重点 コロナ禍で、女性の貧困化と自殺者が急増している。適切な支援につながるよう相談支援体制を強化すること。
- 重点 西東京市生きる支援推進計画に基づいた事業を確実に実施すること

○子ども・子育て

- 重点 ボール遊びのできる公園を増やすこと
- 重点 障がい児も一緒に楽しめるユニバーサルデザイン遊具を公園に導入すること
- 重点 子ども食堂の安定的な継続に向けた支援を行うこと。活動場所やストックヤードの確保および市民が子ども食堂を運営する上での相談機能を充実させること
- ◎地域子育て支援センター（基幹型保育園）を5園から9園に早期増設すること
- ◎園庭のない保育園の公園利用実態調査を行い、要望を公園づくりに反映すること
- ◎常設型のプレーパークをつくること
- ◎ホームスタートを市の事業とすること。
- ◎育児負担が大きい多胎児の親へ産前から支援すること（相談・仲間づくりの機会・移動サポートなど）
- ◎養育費確保事業に離婚前相談や公正証書・調停委調書作成補助を加え、ひとり親の経済的困窮を軽減させること

○LGBT・多文化理解

- 重点 都のパートナーシップ制度を活用し、同性カップルの不利益を解消すること
- ◎小中学校の教員へLGBT研修を行い、理解と啓発に努めること
- ◎多文化共生プランを策定し、多文化共生のまちづくりをすすめること
- ◎「やさしい日本語」を、出先機関も含め全庁的に周知・活用すること
- ◎相談件数や活動量の増加に対応し、多文化共生センターへの運営補助金を拡充すること